

令和4年度事業報告

自 令和4年10月1日 至 令和5年9月30日

I. 展覧会

1. 第51回「日本の書展」直轄展

令和2年1月に日本でも確認された新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月に、国内の位置付けが第2類相当から第5類へ移行したのを機に、人々の行動が変化してきており、コロナ禍以前に徐々に戻りつつある。第50回展に続き、第51回展も直轄4展を無事開催することができた。

51回直轄4展の出品者総数は3,669名。出品者総数の推移（50回展3,648名、49回展3,555名、48回展3,665名、47回展3,678名、46回展3,584名）を見ると、コロナ禍や展覧会中止にもほとんど影響されず、安定した数を保っている。

入場者総数は16,076名。内訳は、関西展1,443名（50回展1,702名、49回展開催中止、48回展開催中止、47回展1,972名）、中部展2,501名（50回展2,767名、49回展1,669名、48回展開催中止、47回展2,853名）、東京展9,868名（50回展8,363、49回展4,361名、48回展4,136名、47回展8,597名）、九州展2,264名（50回展1,822名、49回展開催中止、48回展1,425名、47回展1,500名）、コロナ禍以前の入場者数に戻ってきている。

開催披露祝賀会の出席者数も、来賓・出品書家・関係者の全体で、関西展467名、中部展345名、東京展640名、九州展134名となっており、人の出足がかなりほぼ戻りつつあることが伺える。

例年行っている出品者への贈呈として、図録1冊（現代書壇巨匠・現代書壇代表・委嘱作品と全出品者名簿を掲載）および出品者本人の作品ブロマイド2枚ずつを送付した。出品者からブロマイドの追加注文はできないのかという以前からの問い合わせがあり、また、作品の撮影データを他に活用していく観点からも、今回急遽の試策として、本人のものに限り、ブロマイドの追加注文を行った。まだ周知されていないためか、追加注文の申し込みはさほどなかったが、今後は出品依頼の時点から追加注文を受け付けるように工夫していきたい。

(1) 関西展

会期 令和5年5月3日（水・祝）～5月5日（金・祝）
会場 マイドームおおさか（1、2階展示ホール A～D）
主催 （公財）全国書美術振興会 産経新聞社
後援 文化庁 大阪府
協賛 （公社）日本書芸院
開催披露祝賀会 令和5年5月3日（水・祝）13:00～15:00
リーガロイヤルホテル 3階 「光琳の間」
出席者 467名

関西展は、巨匠16点、代表110点、委嘱39点、招待456点、秀拔選551点、合計1,172点、会期中の入場者数は1,443名だった。

（参考：前回50回展 出品総数1,143点 入場者数1,702名）

5月3日（水・祝）の13時から、リーガロイヤルホテル3階「光琳の間」において開催披露祝賀会を行い、来賓・出品書家・関係者合わせて467名の出席があった。全員着席、個別料理を提供する形式で執り行い、一卓あたりの席数を8席（通常使用の3割減）にし、食事以外の時間はマスク着用を推奨するなど、可能な限りの感染症予防対策を行った（以下、中部展・東京展・九州展祝賀会とも共通）。

祝賀会では、高木聖雨代表理事・理事長ならびに田中壮一郎代表理事・会長の主催者挨拶に始まり、産経新聞社 事業本部長 伊藤富博氏の共催者挨拶、文化庁文化財調査官 吉野亨氏の来賓祝辞、日本芸術院会員の黒田賢一常務理事による書家代表挨拶へと続き、来賓・全国書美術振興会役員・巨匠作家の紹介の後、土橋靖子理事の乾杯発声で祝宴に入った。15時に、真神巍堂常務理事の閉会の挨拶で終了した。

(2)中部展

会 期 令和5年5月30日（火）～6月4日（日）
会 場 愛知県美術館ギャラリー（愛知芸術文化センター8階 A～I）
主 催 （公財）全国書美術振興会 中日新聞社
後 援 文化庁 愛知県 東海テレビ放送
協 賛 （公社）中部日本書道会
開催披露祝賀会 令和5年5月30日（火）18：00～20：00
名古屋東急ホテル 3階 「ヴェルサイユ」
出席者 345名

中部展の出品数は、巨匠16点、代表110点、委嘱16点、招待190点、秀拔選409点、合計741点、会期中の入場者数は2,501名だった。

（参考：前回50回展 出品総数739点 入場者数2,767名）

中日新聞社の紙面協力、東海テレビ放送の放映協力、中部日本書道会の協賛を得ている。

5月30日（火）の18時から、名古屋東急ホテル3階「ヴェルサイユ」において開催披露祝賀会を行い、来賓・出品書家・関係者合わせて345名の出席があった。

祝賀会では、高木聖雨代表理事・理事長ならびに田中壮一郎代表理事・会長の主催者挨拶に始まり、中日新聞社 取締役事業担当 鷺見卓氏の共催者挨拶、中部日本書道会 名誉会長の神田真秋氏の来賓祝辞、樽本樹邨顧問の書家代表挨拶へと続き、来賓・全国書美術振興会役員・巨匠代表委嘱作家の紹介の後、東海テレビ放送株式会社 取締役事業担当 林泰敬氏の乾杯発声で祝宴に入った。20時に鬼頭翔雲評議員の閉会の挨拶で終了した。

(3)東京展

会 期 令和5年6月15日（木）～6月25日（日） 6月20日（火）は休館日
会 場 国立新美術館（展示室1A・1B・1C・1D）
主 催 （公財）全国書美術振興会 共同通信社
後 援 文化庁
開催披露祝賀会 令和5年6月15日（木）12：00～14：10
ホテルオークラ東京 オークラプレステージタワー 1階 「平安の間」
出席者 640名

東京展の出品数は、巨匠16点、代表110点、委嘱54点、招待655点、秀拔選822点、東京展合計1,657点、他展の委嘱（関西展委嘱39点・中部展委嘱16点・九州展委嘱8点）も加わり総展示数1,720点、会期中の入場者数は9,868名だった。

（参考：前回50回展 出品総数1,725点、入場者数8,363名）

6月15日（木）の12時から、ホテルオークラ東京1階「平安の間」において開催披露祝賀会を行い、来賓・出品書家・関係者合わせて640名の出席があった。

祝賀会では、高木聖雨代表理事・理事長ならびに田中壮一郎代表理事・会長の主催者挨拶に始まり、早々に退室予定の書道国会議員連盟名誉会長 河村建夫氏の発声で先に乾杯を行った。株式会社共同通信社 代表取締役社長 三土正司氏の共催者挨拶へと続き、文部科学副大臣・衆議院議員 築和生氏、書道国会議員連盟会長代行・参議院議員 末松信介氏、会合のために遅れてきた書道国会議員連盟会長・衆議院議員の塩谷立氏の順で来賓祝辞をいただき、書道国会議員連盟事務局長・衆議院議員の関芳弘氏を紹介した。文化功労者で日本芸術院会員の井茂圭洞名誉顧問による書家代表挨拶、来賓・全国書美術振興会役員・巨匠作家の紹介の後、祝宴に入った。14時10分に日本芸術院会員の星弘道常務理事の閉会挨拶で終了した。

(4)九州展

会 期 令和5年7月4日（火）～7月9日（日）
会 場 第1会場 福岡市美術館（2階ギャラリー A～F）
第2会場 福岡県立美術館（3階展示室 1～4号室）
主 催 （公財）全国書美術振興会 西日本新聞社
後 援 文化庁 福岡県

開催披露祝賀会 令和5年7月4日（火）12：30～14：30
西鉄グランドホテル 2階 「プレジール」
出席者 134名

九州展は、巨匠16点、代表110点、委嘱8点、招待140点、秀拔選203点、合計477点、会期中の入場者数は2,264名だった。

（参考：前回50回展 出品総数467点、入場者数1,822名）

7月4日（火）の12時30分から、西鉄グランドホテル2階「プレジール」において開催披露祝賀会を行い、来賓・出品書家・関係者合わせて134名の出席があった。

祝賀会では、高木聖雨代表理事・理事長ならびに田中壮一郎代表理事・会長の主催者挨拶に始まり、西日本新聞社営業本部次長 安武弘子氏の共催者挨拶、独立行政法人国立文化財機構理事長・九州国立博物館館長 島谷弘幸氏の来賓祝辞、来賓・全国書美術振興会役員・代表および委嘱作家の紹介の後、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団理事長 石原進氏の乾杯発声で祝宴に入った。14時30分に、松清秀仙評議員の閉会の挨拶で終了した。

2. 第50回および第51回「日本の書展」巡回展

会 期 第50回巡回展 令和4年8月～令和5年4月
第51回巡回展 令和5年9月～令和6年4月

会 場 50回展は地方8カ所を開催。51回展も地方8カ所の開催を計画。

主 催 (公財) 全国書美術振興会 共同通信社 各地元新聞社

後 援 文化庁

現代書壇巨匠と現代書壇代表巡回作品（第50回展121点、第51回展126点）については、直轄展終了後、本会・共同通信社・各地元新聞社の共催、文化庁後援により、約1年間をかけて、地方を巡回する。

第50回「日本の書展」巡回展 実施会場一覧

	開催地	地元主催新聞社	会 場	会 期	地元作品数	入場者数
1	島根 松江市	山陰中央新報社	島根県立美術館	4.8.25～8.29	200	608
2	青森 青森市	東奥日報社	New's T0-0ビル3階催事場	4.9.3～9.6	269	651
3	富山 富山市	北日本新聞社	富山県民会館	4.9.17～9.19	141	650
4	広島 広島市	中国新聞企画サービス	福屋広島駅前店 8・9階催事場	4.9.29～10.4	524	12,408
5	岡山 岡山市	山陽新聞社	天満屋岡山店 6階 葦川会館	4.10.12～10.17	434	2,650
6	奈良 奈良市	奈良新聞社	奈良県文化会館	5.2.22～2.26	159	1,411
7	長野 長野市	信濃毎日新聞社	長野県立美術館	5.3.3～3.6	224	1,649
8	茨城 水戸市	茨城新聞社	茨城県立県民文化センター	5.4.8～4.13	244	2,200

※白部分が、今年度（令和4年度）事業

第51回「日本の書展」巡回展 実施会場一覧

	開催地	地元主催新聞社	会 場	会 期	地元作品数	入場者数
1	鳥取 米子市	山陰中央新報社	米子市美術館	5.9.1～9.4	200	667
2	青森 青森市	東奥日報社	New's T0-0ビル3階催事場	5.9.8～9.11	274	651
3	富山 富山市	北日本新聞社	富山県民会館	5.9.15～9.18	125	647
4	岡山 岡山市	山陽新聞社	天満屋岡山店 6階 葦川会館	5.10.11～10.16	415	2,942
5	広島 広島市	中国新聞企画サービス	広島県立美術館県民ギャラリー	5.10.24～10.29	498	4,533
6	奈良 奈良市	奈良新聞社	奈良県コンベンションセンター	6.2.20～2.24	—	—
7	長野 長野市	信濃毎日新聞社	長野県立美術館	6.3.7～3.10	—	—
8	茨城 水戸市	茨城新聞社	茨城県立県民文化センター	6.4.13～4.18	—	—

※白部分が、今年度（令和4年度）事業

3. 第51回「日本の書展」東京展 公募臨書

会 期 令和5年6月15日（木）～6月25日（日） 6月20日（火）は休館日
 前期展示 令和5年6月15日（木）～6月19日（月）の5日間
 後期展示 令和5年6月21日（水）～6月25日（日）の5日間
 会 場 国立新美術館（展示室1Dの一部 51～53室の3室）
 主 催 （公財）全国書美術振興会 共同通信社
 後 援 文化庁

2012（平成24）年の第40回から東京展に新設・併催された公募臨書も今回12回目となる。出品点数は1,135点、前回の941点より194点増え、公募展新設以来、初の千点超えとなった。

令和4年12月8日に、国立新美術館審査室で審査委員10名による入選・落選の審査鑑別を行った。入選率50%を念頭に置いて審査を行い、最終的に入選数は476点、入選率41.9%となった。内訳は下表参照。

出品整理料は前回同様2,000円。入選作品は表具をして国立新美術館の51～53の3室に展示、壁面展示は2段掛けとした。展示後、入選者には表装作品と共に入選證を送った。

第51回「日本の書展」東京展公募臨書 入選数一覧 <展示方法・展示期間別内訳>

	壁面展示		机上展示		計
	たて	よこ	よこ	篆刻	
前期展示	172	52	14		238
後期展示	172	52	14		238
入選数合計	344	104	28		476

第51回「日本の書展」東京展公募臨書 入選数一覧 <作品ジャンル別内訳>

	漢 字		か な		篆 刻
	たて	よこ	たて	よこ	
	336	14	8	90	
350		98			
入選数合計	476				

II. 「子どもゆめ基金」助成子ども体験プログラム(ワークショップ)

1. 筆もじにトライ！2022 コロナ禍のため令和4年8月から令和4年12月に延期

[当初開催日程・場所]

日 時 令和4年8月10日（水）
 Aコース 10：30～11：40
 Bコース 13：30～14：40
 Cコース 15：40～16：50
 令和4年8月11日（木・祝）
 Dコース 10：30～11：40
 Eコース 13：30～14：40
 Fコース 15：40～16：50
 令和4年8月12日（金）
 Gコース 10：30～11：40
 Hコース 13：30～14：40

場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟2階「第1ミーティングルーム」

[延期日程・場所]

日 時 令和4年12月24日（土）
 Aコース 10：30～11：40 体験者16名
 Bコース 13：30～14：40 体験者13名
 Cコース 15：40～16：50 体験者17名
 令和4年12月25日（日）
 Dコース 10：30～11：40 体験者13名
 Eコース 13：30～14：40 体験者11名
 Fコース 15：40～16：50 体験者13名
 令和4年12月26日（月）
 Gコース 10：30～11：40 体験者14名
 Hコース 13：30～14：40 体験者19名

場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟4階「研修室416」
 参加費・材料費 無料
 助 成 独立行政法人国立青少年教育振興機構・子どもゆめ基金助成活動より 697,979 円の
 助成
 対 象 3歳～小学校3年生までの子ども（保護者同伴）
 定 員 160名（各コース20名×8コース）
 ※当日のキャンセルを見込んで、各コース21名ずつ予約を受け付けた。
 体験者総数 116名
 体験者内訳 3歳 10名 4歳 19名 5歳 16名 6歳 12名
 小学校1年生（6・7歳）21名 小学校2年生（7・8歳）26名
 小学校3年生（8・9歳）12名
 指導者 今和希子氏、芹澤翔華氏、中村喬華氏、堀一惜氏、松浦龍坡氏、宮島翠雨氏、
 室井大輔氏

当初、夏休み中の8月で申込みを受け付けたところ満席となったが、新型コロナウイルス感染症が急激に拡大したため、冬休み中の12月に延期した。参加予定者にはメールで延期の連絡をし、当会ホームページ、イベントフリーサイトにて延期について公表し、延期日程で改めて参加者を募ることになった。8月に申し込んでいた参加者には、12月でも参加ができるように、一般申込みよりも先に優先申込期間を設けて参加希望を受け付け、一般申し込みは11月1日（火）から受け付けた。

前回からの変化として、文字のなりたちクイズは低年齢の参加者には内容が難しいため、筆や墨は何から作られているかなどをイラスト中心のパネルにし、参加型のクイズにして好評だった。また、磨った墨を嗅いで嗅覚体験をするほかに、今回新たな試みとして、和紙を手で裂いて、紙の繊維を視覚と触覚で感じる体験を加えた。

2. 筆もじにトライ！2023

日 時 令和5年8月18日（金）
 Aコース 10：30～11：40 体験者26名
 Bコース 13：30～14：40 体験者18名
 Cコース 15：40～16：50 体験者 9名
 令和5年8月19日（土）
 Dコース 10：30～11：40 体験者20名
 Eコース 13：30～14：40 体験者 8名
 Fコース 15：40～16：50 体験者14名
 令和4年8月20日（日）
 Gコース 10：30～11：40 体験者21名
 Hコース 13：30～14：40 体験者13名
 場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター
 スポーツ棟 地下1階「第4体育室」
 参加費・材料費 無料
 助 成 独立行政法人国立青少年教育振興機構・子どもゆめ基金助成活動より 854,000 円の
 助成予定（実績報告書を提出、助成額の確定待ち）
 対 象 3歳～小学校3年生までの子ども（保護者同伴）
 定 員 288名（各コース36名×8コース）
 体験者総数 129名
 体験者内訳 3歳 15名 4歳 18名 5歳 17名 6歳 10名
 小学校1年生（6・7歳）19名 小学校2年生（7・8歳）25名
 小学校3年生（8・9歳）25名
 指導者 上籠鈍牛氏、小西北翔氏、小林史青氏、芹澤翔華氏、畠田心珠氏、
 堀一惜氏、松浦龍坡氏、宮島翠雨氏、室井大輔氏

令和5年6月から、振興会ホームページへの公開、「日本の書展」東京展会場内でのチラシ配布、子ども体験ウェブサイトへのアップ、体験場所近郊や沿線上への幼稚園・保育園・小学校・児童館等子ども施設へのチラシ配布を行い、体験プログラムの募集を呼び掛け、6月27日からホームページで参加者の募集を開始した。

体験日3日間とも熱中症警戒アラートが発表されるような猛暑日で、その影響か、数日前からのキャンセルが相次ぎ、体験者数が大幅に減少してしまいましたが、同伴の保護者にも子どもと一緒に体験に参加してもらった。

次回は、定員数の見直しや親子体験の導入などを検討し、定員数に近い人数の体験を目指していきたい。

Ⅲ. 日本書道文化協会

活動報告は別紙にて

Ⅳ. 書写・書道教育推進協議会

活動報告は別紙にて

Ⅴ. 日本書道ユネスコ登録推進協議会

活動報告は別紙にて

Ⅵ. 機関誌および書美術に関する出版物刊行ほか

1. 展覧会作品集等の制作

(1) 第51回「日本の書展」直轄展

- ① 図録 4, 380部 (前回50回展は4, 350部)
現代書壇巨匠・現代書壇代表・全展委嘱作品図版をオールカラー刷りで掲載。
巻末には、全展招待・秀抜選作家を含む全出品者名簿を掲載。
出品者には1冊ずつ贈呈。
- ② 出品者本人の作品ブロマイド 7, 626枚 (前回50回展は7, 584部)
展覧会名・姓号入り 2Lサイズ カラー写真 非売品。
各出品者には、出品者本人のブロマイドを2枚ずつ贈呈。
(出品者3, 653名×2枚ずつ、現代書壇巨匠16名のみ×20枚ずつ)
- ③ 出品者名簿 直轄4展合計 49, 700枚
関西展 13, 300枚
中部展 9, 700枚
東京展 20, 800枚
九州展 5, 900枚
- ④ 案内はがき 112, 000枚
- ⑤ ポスター 600枚
- ⑥ 外国人向け展覧会概要リーフレット 400枚

(2) 第51回「日本の書展」巡回展

図録 (直轄4展と同図録) 700部 (前回50回展は700部)

(3) 第51回「日本の書展」公募臨書

- ① 入選者名簿 2, 000枚
- ② 入選證 570枚

(4) 第52回「日本の書展」公募臨書

出品要項 18, 600枚

2. 「子どもゆめ基金」助成子ども体験プログラム「筆もじにトライ! 2023」の制作

- 募集チラシ (簡易版) 300枚
- 募集チラシ (詳細版) 4, 000枚

3. 機関誌「書美術」第40号 4, 430部 令和5年3月1日に発行

4. ホームページの更新

Ⅶ. 書美術功労者の顕彰

日本芸術院賞を受賞された永守蒼穹理事の功労を顕彰し、記念品を贈呈した。

以上